



## 園長あいさつ

園長 小松 守

お正月明けの1月4日、北国秋田の冬の風物詩的存在になった「雪の動物園」がスタートしました。11月のシーズン開園を終え、ひととき静かだった動物園に再びお客さまの笑顔が戻り、「ああ、動物園はやっぱりお客さんがいるからいいんだ」と改めて実感しました。2006年から数え今年で10回目の開催ですが、雪に閉ざされがちな秋田の人々にとって動物園はどこか日常を忘れさせてくれるのかもしれない。動物園の役割として種保存や教育的側面が前面に出る傾向にありますが、はじめはいろいろな動物との出会いの中、「幸せ時間」を過ごす空間でありたいと思っています。40年間動物園にお世話になり、そんな思いに至りました。その延長線上に何かを感じ、学ぶ、教育的機能が発揮されればいいし、主人公である動物たちの「いのち」が途絶えないように種保存にも力を注がなければなりません。しかし、やはり最上位に置かれるべき役割は、動物を目の前にして人間性をリ・クリエートしつつ、生きている喜びを感じ取れる「幸せ空間」でありたいものです。1973年9月の開園以来、大森山動物園の入園者数は1000万人になろうとしています。100万人を少し超える秋田県人口で考えると、全県民が10回ご来園いただいたこととなります。動物と語り、ふれあえる地域の動物園として、家族や恋人らが集う「幸せ空間」をこれからも目指していきたいものです。

## こんにちは! あかちゃん



今回の「こんにちは!あかちゃん」では、大森山動物園で8月以降に生まれた赤ちゃんを紹介します。



### チリーフラミンゴ

8月12日、2年続けてチリーフラミンゴが繁殖しました。ヨーロッパフラミンゴのヒナ3羽と共に元気に育ちました。

### アカカンガルー

アカカンガルーがベビーラッシュ。昨年の8月10日から12月までの間に、あわせて4頭の赤ちゃんがお母さんの袋から顔を出しました。8月に生まれた子どもはもうお母さんの袋に入れなくなり大きく成長しています。



## 大森山を後にした動物たち

9月25日、コクチョウのオス、カールとメスのディップが京都競馬場に旅立ちました。レースには出ませんが、京都競馬場の中にある大きな池が新しいおうちです。既にある白鳥たちにすぐに溶け込み、リーダー的な存在になったそうです。



### コクチョウ



### ワライカワセミ

11月8日、ワライカワセミのメスが東京の多摩動物公園に嫁入りしました。楽しそうな鳴き声で人気がありましたが、大森山動物園の展示場から姿を消しました。新天地で繁殖に貢献して欲しいと思います。

元気でね!

## 仲間入りした動物たち

よろしくね!



### カピバラ

10月8日、埼玉県子ども動物自然公園からカピバラのお嬢さんがやってきました。名前はコムギ。一昨年生まれたオスのカピバラです。コムギよりも大きなメス4頭とお見合いを重ねて、同居がうまくいくことを期待しています。

### エミュー



11月19日、東京の多摩動物公園からエミューのメスがやってきました。ワライカワセミとの交換です。それまで大森山にはミーとケーというオスしかいなかったため、エミューの初繁殖に向け、担当も合いが入ります。

### ゴマフアザラシ



12月20日、3園館連携(後述)の取り組みとして、「雪の動物園」期間中、鶴岡市立加茂水族館からゴマフアザラシのオス「あらし」君をお借りしました。あらし君にとっては初めての外出で、慣れるまでに時間がかかりました。ペンギン舎に間借りしての生活では、あらし君がプールに入ると先住者のペンギンたちが大騒ぎです。

## 仲間入り予定の動物たち

待ってるよ!



### レッサーパンダ

3月の開園に向けて、レッサーパンダのオスを導入する予定です。ゆりの旦那さんです。

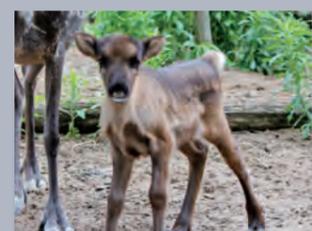
### 飼育動物数 ~2014年12月末現在~

類	個数	点数
哺乳類	51種	332点
鳥類	40種	191点
爬虫類	11種	33点
両生類	2種	3点
魚類	3種	47点
無脊椎	1種	16点
合計	108種	622点

## ⓧ 訃報 忘れないよ...



○アカカンガルー モモタロウ オス  
デニーロ亡き後、立派な体格でカンガルーの群をまとめてきたモモタロウ。カンガルーに特有な病「カンガルー病」にかかり、顔が腫れてきたため、治療を続けていました。薬を注射すると良くなりますが、また腫れてを繰り返していました。残念ながら10月5日に死亡しました。



○トナカイ ロナ メス  
昨年の6月7日に生まれたロナ。大森山では久しぶりのトナカイの繁殖でした。生まれてすぐはなかなかおっぱいが飲めず、担当者が苦労して粉ミルクを飲ませたこともありましたが、じきに活発に動くようになり、自力で母乳を飲むようになりました。順調に成長していた矢先の10月下旬、体調を崩し、11月1日に早すぎる死を迎えました。



○カナダヤマアラシ メープル メス  
15年前に大森山動物園にやってきました。カナダ出身のメープルは、北国秋田の気候に適したのか、たくさんの子どもを産み、カナダヤマアラシの繁殖に貢献した優しいお母さんでした。12月10日、静かに息を引き取りました。



○レッサーパンダ 陸 メス  
大森山動物園で初めて生まれたレッサーパンダの陸。数年間はオスと思われていましたが、数年後調べ直したらメスであることが分かった個体です。ユウタとの間に3回ほど出産を経験し、一昨年、無事に1頭の子ども(ゆり)を産み、育てました。昨年の3月頃から歩き方がおかしくなり、5月には両方の後ろ足を引きずるようになってしまいました。担当の懸命な看病もあり、頑張って生活していましたが、11月8日長い闘病の末、亡くなりました。

このほかにもマーゴールやキョン、ホンドリス、モモイロペリカンなどが亡くなっています。